

STRAPJACK PLUS

USER'S GUIDE

1. ジャック部の穴あけ

まず、最初にストラップジャックを取り付ける穴あけの加工をします。既に1/2インチ（約12.7mm、±0.2）の穴径が開いている場合はこの部分は必要ありません。

初めに、塗装等が欠けないようにマスキングテープなどで、穴を開ける部分を保護します。（ストラップピンのある部分です）1/2インチの穴をあける前に5~7mm程度のガイドになる穴をあけるとスムーズに穴が開けられます。その後、1/2インチのドリル、またはステップドリルで穴を広げます。

2. シールドイング

金属キャップは、外来ノイズの保護のためにジャック上にねじ込みます。Strapjackプラスから、金属キャップのネジを抜いて、図1の中で示されるようにピックアップおよびmicケーブルを通してください。

3. ハンダ付け

ピックアップが既に付いていて配線が後になってしまう場合は、ピックアップの配線はサウンドホール辺りで行わなくてはなりません。この時にはボディ保護のため、タオル等を敷いて保護をして下さい。ピックアップとの配線は出来るだけギターとは別々に行ったほうが良いでしょう。

配線を行うときには、金属キャップから先に通してジャック本体にハンダ付けします。ピエゾピックアップなどのメインのピックアップがTipに、マグネティックピックアップなどのサブのピックアップがRing側にハンダ付けします。ハンダ付けが終わった時点で、メタルキャップを締めて音の出力確認をしてください。

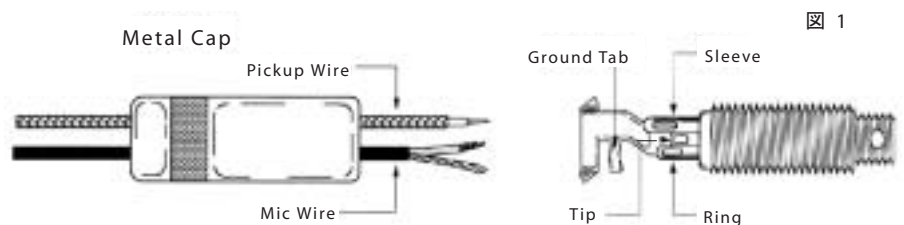


図 1

4. ジャックの取付け

一番外側のストラップリング、ナット、ワッシャーを外しサウンドホールから先に開けたジャック用の穴に通します。その際、注意する点は、2段になっているネジ切り（小径）の部分がわずかな数ミリ程度エンドブロックに入るような位置になるようにボディ内部より調整します。ストラップリングを付けた状態で1ミリ位ジャックのネジが出るのが理想です。

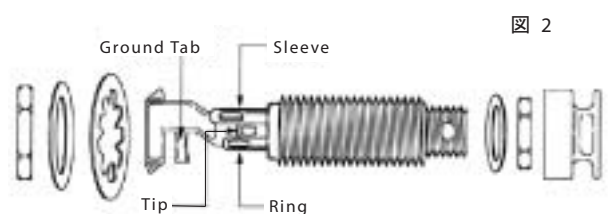


図 2

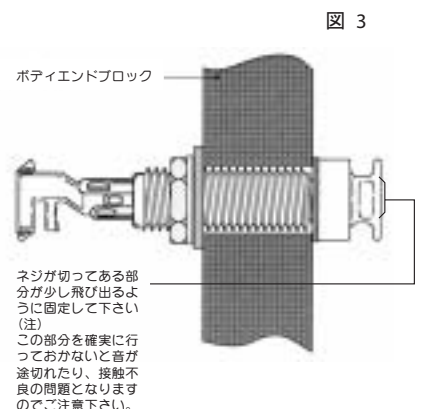


図 3